



当社池山社長(左)
アンカンミンカン富所さん

FMぐんま「群馬SDGsレポート」に池山社長が出演

明星電気は、FMぐんま「群馬SDGsレポート」の取材を受け、その模様が2月12日に放送されました。

この番組では、「ひとりの100歩ではなくみんなの1歩」をテーマに、群馬県内でSDGsに取り組む企業や自治体などを紹介しています。池山社長が当社のSDGsへの取り組みについて説明し、番組ナビゲーターの吉本興業 群馬住みます芸人 アンカンミンカン富所さんの巧みで早口な質問にも動じることなく、当社の多くの製品が気候変動の課題解決に貢献していることをアピールしました。

今後も事業活動を通じてSDGsの達成に貢献していきます。

(担当:総務人事部)



スポーツ気象LABoホームページ

スポーツ気象LABoでPOTEKA紹介

株式会社ウェザーニューズが運営するWebサイト、スポーツ気象LABoでPOTEKAが紹介されました。

スポーツ気象LABoは、スポーツをする際に、安全に、そして良い準備をして挑むために、気象情報の有効な活用方法を知ってもらうサイトです。気象状況が運動パフォーマンスに与える影響や実況データの活用方法などが掲載されており、2月2日に公開された「実況データを活用するということ②」の中で、気象の観測実況データとしてPOTEKA NETが紹介されました。また、お正月に行われた大学駅伝で、POTEKAで観測した各中継所の実況データが、ある出場チームのレース戦略に反映され、順位を挽回して次大会のシード権を獲得したことが、実況データの必要性とともに紹介されています。

POTEKA NETのリアルタイムで正確な気象情報が、スポーツ競技でも活用されています。

スポーツ気象LABo <https://www.sportswater-labo.wni.com/>

(担当:気象防災事業部)



POTEKA



「未来をつくる仕事図鑑」表紙

学研「未来をつくる仕事図鑑」に掲載

株式会社学研プラスが発行する小学5、6年生対象の「未来をつくる仕事図鑑 第2巻 安心できる日常をつくる」に、当社社員の記事が掲載されました。「未来をつくる仕事図鑑」は、未来と仕事について知ることができ、第2巻で「安全・安心な未来」をつくる仕事として、人工臓器・救助ロボット・地震関連などのテクノロジーの開発者や研究者が紹介されています。記事には、当社の計測震度計開発者のふだんの仕事内容や、計測震度計の仕組み・地震の揺れを見つける工夫などが掲載されています。

明星電気はさまざまなメディアを通して、安全・安心につながる当社の技術や情報を積極的に発信していきます。

学研出版サイト <https://hon.gakken.jp/book/1450133800>

(担当:気象防災事業部、総務人事部)



掲載ページ

【文中:敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。